

# 和顔愛語

わ げ ん あ い ご

令和2年  
1月25日発行  
Vol.11

## 本年も当山護持によろしくお願ひいたします

や「腰痛が治りますように」とみなさん一生懸命にお線香の煙をこすりつけています。それが間違いかと問われればはつきり間違いであるとは言えません。お線香の煙を腰にあてたから腰痛が治るかと聞かれれば、それもわかりません。つまり、お線香の煙自体には、何かを叶える力があるわけではないのです。

## お風呂と同じ?

## 坊さんが医者?

気づけば年が明けてからすでに一ヶ月が過ぎようとしています。新年のご挨拶が遅くなりましたが、本年も時宗掛馬山地蔵院満徳寺の護持にご協力よろしくお願ひいたします。余談ですが、本日一月二十五日は浄土宗の祖であります「法然上人」の命日であります。浄土宗系の一つである時宗にとつても、念佛の教えを説かれた法然上人は重要な存在であります。今一度、お念佛のありがたみを感じてください。さて、青山学院大学の総合優勝で幕を閉じた今年の箱根駅伝。茨城県の筑波大学の出場も大変うれしいことでしたね。本山である遊行寺は復路八区で「心臓破りの坂」と言われる「遊行寺の坂」が目の前になります。ランナーが通る前後は参拝客が長蛇の列をなします。しかしながら、ヘリコプターから映る映像は、皆沿道に出た後ですので参拝客のいない本山になっています。

余計な話をしてしまいましたが、私は約一〇年、ほぼ毎年お正月に本山でお線香の授与をさせて頂いております。ほかのお寺や神社でもそうですが、なぜ参拝前にお線香を供えるのでしょうか。

今号では同じ意味のお焼香についても交えてお話をしたいと思います。

## 頭がよくなりりますように…

お参りの前にお線香を供えて「頭がよくなりりますように」

では、一体このお線香にはどのような意味があるのでしょうか。これはお仏壇に供えるお線香や、お焼香でも同じ意味になります。人と会う前はシャワーを浴びるという人もいるかもしれません。それは、体の汚れをきれいにしてから人に会いたいと思うからでしょう。

われわれ凡夫は、生活をしていく中で様々な穢れや邪念が体についています。

そこでお線香やお焼香の煙によって、身に付いた汚れを淨めてからお参りをしようということなのです。

つまり、お線香を供えることや、お焼香をすることだけでは供養や、祈願にはならないのです。清めた後に何をするかが重要なのです。

話は変わりますが、「病室で念佛を唱えないでください」というドラマが現在放送されています。僧侶であります者が描かれています。時宗が発行している「遊行」にもドクターミネこと峯崎師のコラムが載っていますね。

第一話の放送では「ありがとう」という言葉について取り上げられていました。普段使う「ありがとう」という言葉は「有り難し」という仏教語が由来となっています。この話は副住職がよく話す内容なので詳しく述べません。気にならぬかたは副住職までお願いします。

さて、少し前に「筆談ホステス」として話題になつた斎藤里恵さんをご存知でしょうか。その方の言葉の中に「難題の無い人生は無難な人生。難題のある人生は有難い人生。」という言葉がございます。

われわれ人間はどうしても楽な方へと意識が向いてしまいます。他人と比較して「なんで私だけ」と思うこともあるでしょう。

しかし、「盲龜浮木」というたとえがあるように、われわれがこうして生まれてくることはとても難しいことなのです。いま生きていることに感謝しましょう。

よく、「お焼香は何回したらいいの?」や「お線香は何本供えたらいいの?」と聞かれます。宗派によつては決まっていふところもございますが、当山においては特別回数を決めてはいません。

お通夜、お葬式などのでは、参列者の人数によって「一回焼香でお願いします」と言われることがあります。その時に

然るに人天善所には 生をうること有りかたし

常に三途の惡道を 棚としての三出やらす

よつて、決まりがある場合はそれに従いましょう。

本数ではなく、その後の行動が大切です。基本的に回向の文句や祈願の文句を述べる前にお焼香はしていただきます。それは清めてからご供養をしたいからです。お焼香をして、お線香を供えて満足ではなく、最後まで参列して回向をするようにしてください。

## 回数や本数は?

## 坊さんが医者?